

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 54214 単位数 : 2

科目名	国際関係史	科目責任者	土井 美徳
課題と試験担当教員			
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CLAWP342		

■ 科目概要

近・現代ヨーロッパの政治史・国際関係史を概説する。今日の欧州統合という展開をふまえながら、ヨーロッパが近代において提示したもの、さらに20世紀末以降に、ヨーロッパがいま提起しているものを考察することにしたい。

18、19世紀にヨーロッパが生み出した政治・経済の近代システムは、20世紀においてまさに世界システムとして普及をみた。そして21世紀を迎えた今日、そのヨーロッパでは、政治・法・経済にわたる国家を超えたシステムを展望しつつある。そしてそこには、脱主権国家、福祉国家の再編といった政治機構上の変容に加えて、ヨーロッパ世界における民族や文化、アイデンティティといった問題が新たに政治的課題として浮上している。この意味で、ヨーロッパとは何か、ヨーロッパの近・現代をどう理解するかという知的作業は、私たちが21世紀の社会を展望していくうえで、有益な示唆、あるいは思考の手がかりを提供してくれるものと思われる。

具体的には、近代国家の形成、国際社会におけるウェストファリア・システムの確立、国民国家システムの誕生、資本主義経済の確立、勢力均衡（バランス・オブ・パワー）の外交政策、冷戦とヨーロッパの統合、東欧民主化革命、ソ連のペレストロイカと冷戦終結、欧州連合（EU）と「9.11テロ」、などがテーマとして扱われる。

■ 到達目標

- ①歴史を体系的に認識することができる。
- ②近・現代にヨーロッパが提示した政治の光と影の側面を指摘することができる。
- ③今日、ヨーロッパが世界に問いかける新たな秩序の原理について説明することができる。
- ④歴史の基本的な事実について認識できている。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
第1章	西欧国家体系の誕生とヨーロッパの国際関係
第1章	勢力均衡の外交から、世界大戦へ
第2章	戦後ヨーロッパの秩序形成 冷戦体制とヨーロッパの分断
第2章	ヨーロッパ分断の安定と矛盾 スターリン死後のヨーロッパ
第3章	ヨーロッパ統合の理想と現実
第3章	米欧関係の新展開
第4章	ECとヨーロッパ統合
第4章	米ソ・デタントとヨーロッパ・デタント
第5章	新冷戦とソ連のペレストロイカ
第5章	東欧民主化革命と冷戦の終結
第5章	欧州統合とマーストリヒト条約

学習範囲 該当する章など	学習内容
第6章	ポスト冷戦時代のヨーロッパ新秩序（1） ・統一ドイツ ・ヨーロッパの安全保障
第6章	ポスト冷戦時代のヨーロッパ新秩序（2） ・マーストリヒト条約とEU ・NATOと東方拡大
終章	9.11以後のヨーロッパ国際関係 ・9.11からイラク戦争へ ・EUの拡大と発展

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に的確に解答することができるか ・論理的に構成できているか ・必要な情報がしっかりと論じられているか
レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に的確に解答することができるか ・論理的に構成できているか ・必要な情報がしっかりと論じられているか

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■ 教科書

書名：新版 ヨーロッパ国際関係史―繁栄と凋落，そして再生
著者名：渡邊啓貴
出版社名：有斐閣アルマ
出版年：2008
版：
刷：
ISBN：978-4-641-12348-9

■ 参考書

■ 履修上のアドバイス

・個別の歴史知識の習得にとどまらず、歴史を政治的なテーマに基づいて思考すること、大きな歴史的脈絡を把握すること、そして現代の問題関心に立って歴史を認識すること、などについて留意されたい。

■ 自習時間

レポート1通につき、5時間

■ 担当者のプロフィール

①〈生年〉1964年 ②〈出身地〉兵庫県 ③〈出身大学〉創価大学・早稲田大学大学院（修士・博士課程）、政治学博士 ④〈所属〉法学部 ⑤〈専門分野〉近現代ヨーロッパの政治、EU統合、現代政治理論、立憲主義、民主主義と公共政策の形成過程 ⑥〈主な担当科目〉西洋政治史、日本政治史、公共政策論、公共政策ワークショップA・B ⑦〈主な著書等〉『イギリス立憲政治の源流』（単著）、『岩波講座 政治哲学』全6巻（共著）、『政治学の世界』（共著）、『「ヨ

「ヨーロッパ」の歴史的再検討』（共著）、『クロムウェルとイギリス革命』（共著）、デヴィッド・ヘルド『民主シーと世界秩序－地球市民の政治学』（共訳）、シャンタル・ムフ『政治的なるものの再興』（共訳）、ユルゲン・コッカ『社会史とは何か－その方法と軌跡』（共訳）、ほか ⑧〈趣味〉子どもと遊ぶこと。